



平成 24 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 アジア・アライアンス・
ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 船戸 義徳
(コード番号：9318 東証第 2 部)
問合せ先 総合企画室 天神 雄一郎
(TEL：03-5447-5350)

**平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績見込みと
前年同期実績との差異に関するお知らせ**

当社の平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績見込みにつきまして、前年同期実績との比較で適時開示規則に定める目安以上の差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）業績見込み
(単位：百万円)

	売上高	営業損益	経常損益	純損益
平成 24 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間実績 (A)	2,399	△69	7	△84
平成 25 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間見込み (B)	1,015	△358	△338	△398
増減額 (B-A)	△1,384	△288	△346	△313
増減率 (%)	△57.7	—	—	—

2. 前年同期実績との差異の主要な理由

(1) 売上高について

株式会社六合の不動産売上高が減少したこと等により、当第 2 四半期連結累計期間売上高は 1,015 百万円（前年同期は 2,399 百万円）となり、前年同期比で減少する見込みであります。

(2) 営業損益および経常損益について

上記の要因に加え、投資機会獲得に向けた積極的な事業活動による販売管理費の増加や、株式会社六合の赤字計上等により、当第 2 四半期連結累計期間営業損益は 358 百万円の営業損失（前年同期は 69 百万円の営業損失）となり前年同期比で損失額が増加、当第 2 四半期連結累計期間経常損益は 338 百万円の経常損失（前年同期は 7 百万円の経常利益）となり損失に転じる見込みであります。

(3) 純損益について

上記の要因に加え、特別利益として新株予約権戻入益を計上する一方で、特別損失として投資有価証券売却損を計上したこと等により、当第 2 四半期連結累計期間純損益は 398 百万円の純損失（前年同期は 84 百万円の純損失）となり、前年同期比で損失額が増加する見込みであります。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の数値は、今後の様々な要因によって上記の予想値等と異なる場合があります。